

【生活単元学習】「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

岐阜教育事務所

1 主体的・対話的で深い学び（小学校、中学校、特別支援学校 学習指導要領解説 総則編 一部抜粋）

- 「主体的な学び」… 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。
- 「対話的な学び」… 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める。
- 「深い学び」… 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう。

2 生活単元学習における見方・考え方について（特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編より）

生活単元学習は、各教科等を合わせた指導の一つであり、広範囲に各教科等の目標や内容が扱われる。単元は、各教科等に係る見方・考え方を生かしたり、働かせたりすることのできる内容を含む活動で組織され、児童生徒がいろいろな単元を通して、多種多様な意義のある経験ができるよう計画されていること。

3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善例

単元など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。

	【主体的な学び】	【対話的な学び】	【深い学び】
つかむ	個別の指導計画に基づき、一人一人の実態等に応じた具体的な指導目標及び指導内容を設定する。		
深める	<ul style="list-style-type: none"> ■活動に願いや目標をもることができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・単元の活動計画表を確認したり、前時の活動を振り返ったりする。 ・願いや目標を話す場を設定し、板書等に位置付ける。 例) 活動の場面写真を示してキーワードで理由を付けて 等 ■見通しをもち、試行錯誤しながら意欲的に活動できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・活動ありきではなく、一人一人が目標を達成できるための、必要かつ十分な活動を組織する。 ・個に応じた、適度抵抗のある教材・用具、補助用具やジグ等を用意する。 ・教える、一緒に→方向付け、問いかけ→見守る等、一人一人に応じた段階的な指導・援助を行う。 ・願う姿が見られたときは、個に応じて価値付ける。 例) ハイタッチをしてはなまるカードを示して端的な言葉で ■充実感や達成感、自己肯定感を得て、次時への意欲につながるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて映像や写真等を活用し、目標とつなげて活動の過程を振り返る。 ・本時の評価を端的な言葉やはなまる等で記録、累積し、単元、単位時間における自己の変容が視覚的に実感できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■既習を基に解決方法を考えたり、仲間の考えを取り入れたりとできるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・本時まで身に付けてきた方法や、考えた方法を視覚的に提示したり、仲間の話に耳を傾けたりできるようにする。 ■教師や仲間と関わりながら活動できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が様々な役割を担い、集団全体で協働して取り組める活動を設定する。 ・仲間と同じ場で→仲間の誘いに応じて→仲間を真似して→自ら仲間を誘って→仲間と協力して等、仲間と関わりを意図的に設定する。 ・話し言葉だけでなく、表情、身振り、絵カードの選択、書くこと等、児童生徒が得意な方法で表現できるようにする。 ・「こういうことが伝えたいのかな。」等、児童生徒の言葉にならない思いを言語化したり、「〇さんは、こうしたいんだって。」等、教師が仲介して伝えたりして、思いの伝え方や受け止め方を教師をモデルにして学ぶことができるようにする。 ■仲間と関わって活動するよさを実感できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・仲間からのアドバイスや評価を聞く場とする。 ・仲間と協力して活動したこと、本時の目標が達成できたことを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■生活上の目標を達成したり、課題を解決したりしようとする意欲がもてるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・実際の生活や児童生徒の願いに基づいた活動を設定し、児童生徒と共に活動を計画、発展させる。 ■各教科等の見方・考え方を生かしたり、働かせたりして、活動できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> 例) 特別支援学校「生活科」 <ul style="list-style-type: none"> ・「生活に関わる見方・考え方を生かし」 <ul style="list-style-type: none"> …身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする ・児童生徒の自然な生活としてまとまりのあるものであり、実際の・総合的に学習できるようにする。 ■日常生活に生かすことができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の活動の本質的な意義（行為の値打ち）への気づきを促す問いかけをする。 例) 「なぜ、そうしたいの。」 「それと比べてみると、どうかな。」 「なぜ、これに替えようと思ったの。」 等 ・児童生徒の活動の本質的な意義（行為の値打ち）を願いとつなげて価値付ける。 例) 「両手で渡せたね。」 + 「丁寧に素敵だね。」 + 「だから、お客様が喜んでくれたんだね。」
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返り、学びを確かめる。（自己評価、他者評価） 		

日常の学校生活や家庭生活においても身に付けた内容が活かされているか、見届け、指導・援助する。

自立と望ましい社会参加を目指し、日常生活や社会生活に生きて働く「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養